

令和5年度第4回国立大学法人三重大学教育研究評議会 議事概要

日 時 令和5年6月21日(水) 14時00分～14時50分

場 所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等(※を付した者)はオンラインで出席】

出席者 伊藤(正)学長

鶴原、酒井、吉岡、木下、※田中 各理事

池田、佐久間、尾西、今西、富樫、藤田(達)、小林、村田、金子 各副学長

藤田(伸)、伊藤(信)、堀、森、松村、諏訪部 各学部長・研究科長

遠山、秋元、野阪、久保、神原 各評議員

欠席者 西岡理事

陪席者 服部、小川 各監事

企画総務部長、財務部長、学務部長、施設部長、研究・地域連携部長、国際・情報部長、

医学・病院管理部長

企画総務部総務チーム

◎前回議事概要の確認

学長から、事前に照会した令和5年度第2回教育研究評議会及び第3回教育研究評議会(臨時)議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I. 審議事項

1. 三重大学における学生の懲戒に関する指針の一部改正について

鶴原理事から、「資料：審一1」に基づき、試験等における不正行為及び論文等の作成における学問的倫理に反する行為に対する取扱いが、学部・研究科等により異なることを受けて、大学としての対応を統一するため、学生の懲戒に関する指針を一部改正することについて説明があった。審議の結果、出席者からの意見や質疑を受け、本件については文言等を整理した上で、再審議することとなった。

<主な意見>

- 学生が不正行為を認めておりその証拠がある場合は、すぐに謹慎を申し渡すことになるが、そのためには各学部・研究科等において体制を整えておく必要がある。
- 学部長・研究科長等の不在時には、副学部長・副研究科長や教務委員長が謹慎を申し渡すなど、各学部・研究科等における体制を検討していただきたい。
- 本指針の一部改正について、学生への周知に関してはどのようなスケジュール・方法で行うのか。
- 今年度前期の定期考査に間に合うように改正を進めている。学生へメール配信を行うが、各学部・研究科等からも所属学生への周知徹底をお願いしたい。

- 「無効」という表現が何を意味するのかがわかりづらい。成績がついてもカウントしないということか。それとも成績評価を「0」とすることを「無効」と表現しているのか。その場合は、「無効」ではなく、「0」と評価していることになるのではないか。
- 「無効」という表現について、規程等を再度確認し、成績評価0とした方がわかりやすければ、そのように修正する。
- 停学期間が満了することにより処分を解除することが適当でないと判断される場合、更に2か月の範囲内で期間を延長することができるが、この際に学生は異議申し立てをすることができるかと指針に明記するか否かについて、ご検討いただきたい。
- レポート等の盗用が、同学年だけではなく学年を超えて発生する場合、他の学生の盗用等を助ける行為を行った学生（学年が上の者）に対して、どう対応するか。単位等の取扱いについて、遡って無効にするようなことがあるのか。
- 持ち帰って検討する。

2. 三重大学における大学教員個人評価に関する規程の改正について

尾西副理事から、「資料：審－2」に基づき、令和5年度役員・副学長・学長補佐体制の変更に伴い、各学内共同教育研究施設及び保健管理センターの評価者を変更することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 三重大学における内部質保証に関する規程の改正について

尾西副理事から、「資料：審－3」に基づき、令和5年度役員・副学長・学長補佐体制の変更に伴い、内部質保証推進責任者を変更するとともに、飛び入学に関する点検・評価項目を追加することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 三重大学リカレント教育センター規程の一部改正について

小林副学長から、「資料：審－4」に基づき、リカレント教育パートナーの体制を強化し、各学部・研究科とリカレント教育センターとの協力体制を明確化するため、同センター規程を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 名誉教授称号授与について

企画総務部長から、「資料：審－5、事前配付」に基づき、令和5年5月31日付けで退職した1名の元教授に対し、「国立大学法人三重大学名誉教授称号授与規程」により、名誉教授の称号を授与することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6. その他

なし

II. 役員会報告

1. 令和5年度第4・5・6・7回役員会について

学長から、令和5年度第4・5・6・7回役員会について、「資料：役－1、参考1、参考2、参考3、参考4」に基づき、報告があった。

Ⅲ. 報告事項

1. 令和4年度就職状況調査の報告について

富樫副学長から、「資料：報－1」に基づき、令和4年度卒業生の進路状況について、県内就職率や産業別の就職状況と、その分析について報告があった。

2. その他

なし

以上